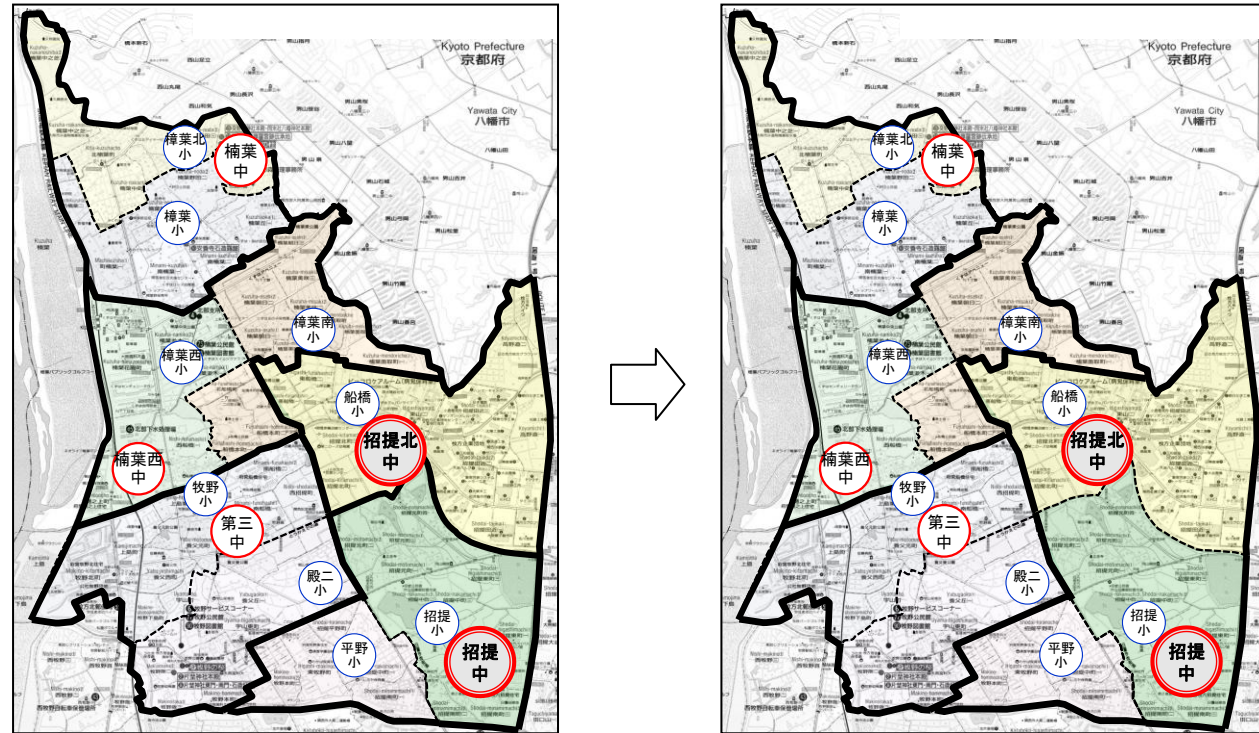


★ (方策番号) 北部-D

(2) 招提北中学校

- 招提中学校と統合する
ア. 招提中学校敷地に統合校を設置する。



1. 学校規模

(1) 学級数・児童数の将来推計
(現行推計)

		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H35	H40	H45	H50	H55
招提北中	学級数 (CL)	7 (2)	7	8	9	9	9	9	9	9	9	6	6
	生徒数 (人)	244 (6)	258	309	313	324	297	313	323	295	255	236	236
招提中	学級数 (CL)	11 (2)	12	11	11	11	12	12	12	12	9	9	9
	生徒数 (人)	381 (9)	413	393	408	390	426	424	448	396	357	339	334

(統合後の推計)

		H27	H30	H31	H32	H33	H35	H40	H45	H50	H55
統合校 中学校	学級数 (CL)	18 (2)	19	19	20	21	21	18	18	15	15
	生徒数 (人)	625 (15)	721	714	723	737	771	691	612	575	570

(2) 住宅開発等の情報

- ・ 招提北中学校区は、校区東側の大部分を工場地帯で占めている。また、校区南側の船橋川以南は市街化調整区域であり、一部に住宅または店舗が存するものの、多くは農地のため、新規の大規模住宅開発は見込めない。また、その他の地域は、既存の住宅地であり、新規の住宅開発は見込めない。
- ・ 招提中学校の周辺は、多くの農地が存在する市街化調整区域であり、用途地域等から新規の住宅開発は見込めない。その他の地域は既存の住宅地であり、新規の大規模住宅開発は見込めない。

2. 施設規模

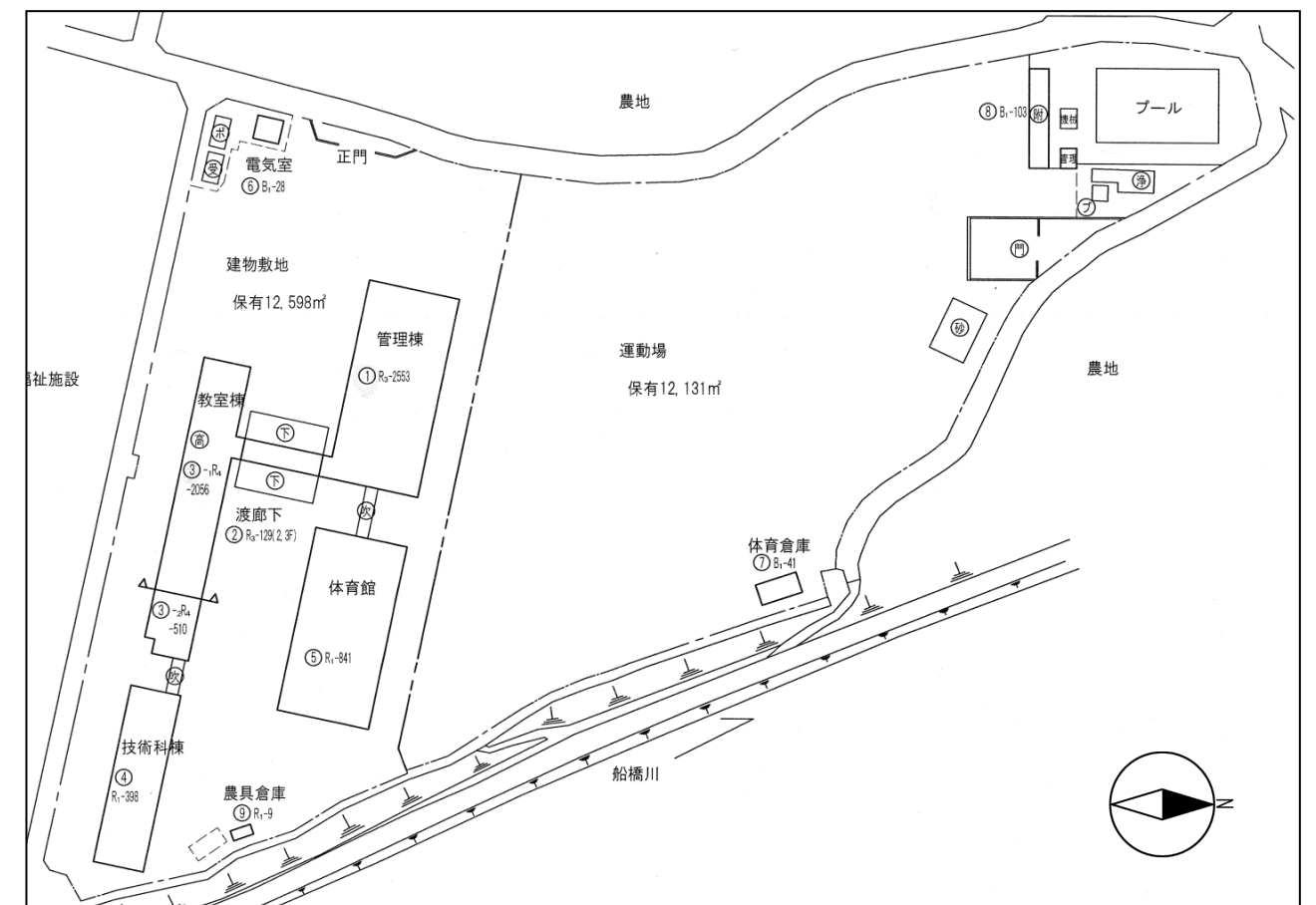
(1) 学校用地の状況

	建物敷地面積	運動場面積	その他面積	敷地面積	形状等
招提北中学校	12,598 m ²	12,131 m ²	—	24,729 m ²	法敷なし。不整形。
招提中学校	9,144 m ²	14,623 m ²	—	23,767 m ²	法敷なし。整形。

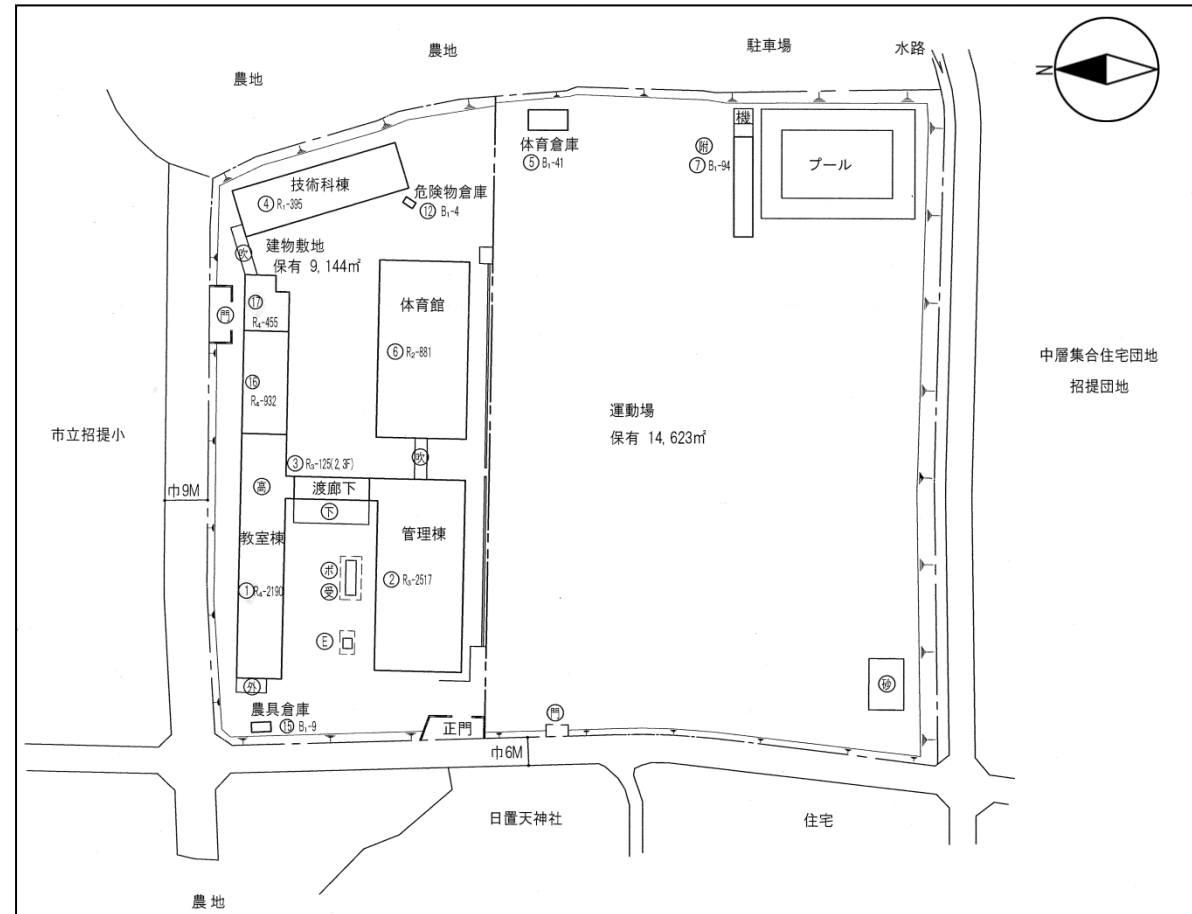
* 中学校設置基準面積 (運動場)

統合した場合の最大生徒数 (771 人)	8,400 m ² (*721 人以上 = 8,400 m ²)
----------------------	---

(招提北中学校 配置図)



(招提中学校 配置図)



(2) 建物の状況

学校名	棟の種類	棟番号	構造区分	階数	建築年	保有面積
招提北中学校	校舎(保有教室数:17教室)					5,517
	管理棟	1	R	3	S60.3.1	2,553
	教室棟	3	R	4	S60.3.1	2,566
	技術科棟	4	R	1	S60.3.1	398
	体育館	5	R	1	S60.3.1	841
	その他					310
招提中学校	校舎(保有教室数:29教室)					6,489
	教室棟	1	R	4	S48.3.1	2,190
	管理棟	2	R	3	S48.3.1	2,517
	技術科棟	4	R	1	S48.3.1	395
	教室棟	16	R	4	S51.4.1	932
	教室棟	17	R	4	S57.3.1	455
	体育館	6	R	2	S49.3.1	881
	その他					273

* 中学校設置基準面積 (校舎)

統合した場合の最大生徒数 (771人)	4,404 m ² (*3,240 m ² + 4 m ² × (771人 - 480人))
---------------------	---

(3) 施設整備の予定

- (招提北中学校) 学校施設整備計画の第2期実施計画整備候補施設 (建築後30年以上)
- (招提中学校) 学校施設整備計画の第1期実施計画整備候補施設 (建築後40年以上)

(4) 増築等の必要性

	統 合 校
	ア 招提中学校敷地に設置
最大時における必要教室数	30 教室 (通常学級 21CL + 支援学級 2CL + 多目的室等 7 教室)
パーテーション対応時	28 教室 (通常学級 21CL + 支援学級 2 教室 + 多目的室等 5 教室)
不足数 (パーテーション対応時)	1 教室 (不足なし)
増築等の方法	—

3. 通学区域

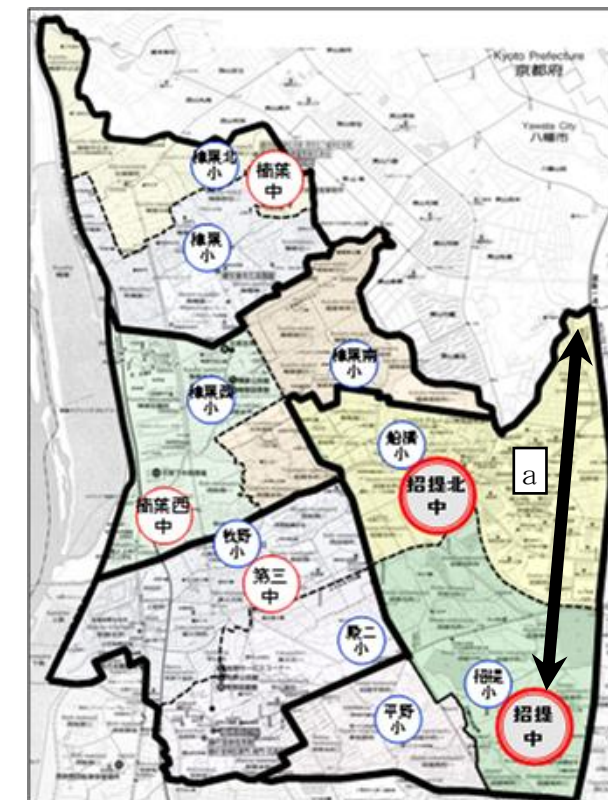
(1) 最長通学距離

(現行)

学 校 名	最長地域	距 離
招提北中学校	高野道 2 丁目 19 番付近	約 2.0km
招提中学校	牧野本町 1 丁目 44 番付近	約 1.8km

(統合後)

統 合 校	最長地域	距 離
ア 招提中学校敷地に設置	高野道 2 丁目 19 番付近 …… a	約 3.1km



(2) 校区の状況

	統 合 校
	ア 招提中学校敷地に設置
不自然な通学 様態の有無	・現状も同様であるが、多くの生徒が船橋川を横断して通学することになる。 ・招提北中学校区の全ての生徒は、交通量の多い道路（牧野長尾線）を横断して通学しなければならない。
地形地物による 地域分断の有無	市道牧野長尾線、船橋川あり。
校区における 学校の位置	南北方向のほぼ南端に位置する。
通学区域の 広さ・形状	東西方向 2.0km 南北方向 2.9km で広大、やや不整形。
その他	一部（東船橋）バス路線あり。 自転車通学の検討の必要あり。

4. 小中連携

	統 合 校
	ア 招提中学校敷地に設置
進学元小学校	船橋小学校及び招提小学校、平野小学校
「一小一中の」 接続関係の確保	確保できる。
小中一貫校（一体 型）の設置可能性	なし。ただし、招提中と招提小はあり。
通学支援策等	一部（東船橋）バス路線あり。 自転車通学の検討の必要あり。

5. 地域連携

(1) 自治会等の区域

- ・学校統合後の自治会分断の有無：なし

(2) 学校の沿革等

	招提北中学校	招提中学校
設置年月	・昭和 60 年 第三中、招提中、楠葉中 から分離開校	・昭和 48 年 第一中、第三中から分離 開校
沿革等		・昭和 58 年 山田中に一部分離 ・昭和 60 年 招提北中に一部分離 ・昭和 61 年 長尾西中に一部分離